

広報

EBETSU

えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 8 119番通報と救急業務の新しい取り組みが始まります
- 10 「地震への備え」できていますか
- 11 第72回市民文化祭（文芸・生活文化・展示部門）
参加者募集 ほか
- 12 国勢調査2025 ほか
- 27 えべつ健康フェスタ2025

2025

9

vol.1031

特集

明日が変わる 『通いの場』

通いの場として活動している「楽しいコーラス『たんぽぽ』」は、月2回、野幌公民館で合唱をしたり、ピアノの練習をしたりしています。歌うことは誤嚥性肺炎の予防につながり、両手を動かすことは認知症の予防につながるといわれています。

好きな歌を歌い、仲間と楽しくお話する姿は、とても生き生きとしていました。（8月6日撮影）



特集 明日が変わる『通いの場』

年を重ねるごとに、家にこもりがちになっていませんか。高齢者は「きょういく、きょうよう」(今日行くところがある、今日用事があること)が大切だといわれており、通いの場に通うことは「きょういく、きょうよう」につながります。

今回の特集では、地域とつながり、今より元気になれる「通いの場」の魅力を紹介します。

【詳細】介護保険課 ☎ 381-1067

知っていますか？
「通いの場」

通いの場は、住んでいる地域で、高齢者が日常的に集まって趣味を楽しんだり、友だちと話したり、健康づくりのために運動したりする場所です。主に地域の公民館や地区センターで活動しています。

市内には約180の団体が通いの場として登録されています。活動内容は、体操やダンス、手芸、合唱、写真撮影などさまざまで、高齢者が主体的に運営しています。

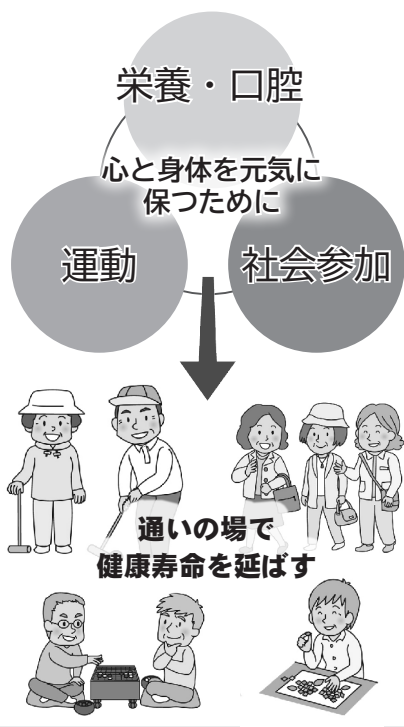
元気の秘訣が詰まった「通いの場」

現代は「人生100年時代」と言われており、平均寿命は

年々延びています。高齢社会である今、健康寿命を延ばすことが重要です。いつまでも自分らしく、心と体を元気に保つためには「しっかりと食べる(栄養、口腔)」「よく動く(運動)」「社会とつながる(社会参加)」の3つが大切だと言われています。

通いの場に通うことは人と交流する「社会参加」の機会になるとともに、通うこと自体が「運動」になります。また、参加者と会話をすることは口腔機能の維持につながるなど、健康寿命を延ばすために必要な要素が詰まっています。

そんな、通いの場の良さについて、専門職の方にお話を伺いました。



専門職も勧める「通いの場」

通いの場には、専門職派遣という仕組みがあり、リハビリテーション職や歯科衛生士、管理栄養士などの専門職に講話などを依頼できます。

実際に派遣されている専門職の山田さんと讃井さんに、通いの場についてお話を伺いました。

認知症予防や口腔機能の維持に効果的

山田 通いの場に通って人に会うことは、健康維持に重要な役割を果たします。フレイル予防（介護予防）の3本柱は「栄養（食、口腔）、運動、社会参加」ですが、その中で一番最初に崩れやすいのが「社会参加」です。

会社で働いていた頃は役割があったけれど、退職してからは家に閉じこもって人と会わなくなった、という人は認知症になるリスクが高いと言われています。「役割がある」ことは認知症予防にとても大切です。通いの場には「活動を考える」「書類を作成する」など役割がたくさんあります。

また、人と会って話すことは、ひとりで黙々と計算や脳トレをするよりも、相手の気持ちを考えて行動するため、認知症予防に有効だと言われています。

讃井 口腔機能が低下すると、栄養をうまく摂取できず、身体に不調が起こり、運動ができなくなり、そこから



介護保険課
歯科衛生士
讃井 智子 さん

どんどん身体が衰えていきます。そして引きこもりがちになって、認知症のリスクも高まっていくという悪循環に陥ります。口腔機能の維持は、健康と非常に密接に結びついています。

口腔機能を維持するには、歯磨きだけでなく、人と話すことも大切です。話すことで、口周りの筋肉が動き、食べ物を噛むときに重要な筋肉が自然と鍛えられます。通いの場に参加して人と話す機会があることは、口腔機能の維持にとっても良いことです。

楽しいからこそ続けやすい

山田 一人で週1回以上運動する人より、週1回未満の運動でも、スポーツグループに参加している人の方が要介護状態になるリスクが低いというデータがあります。（下グラフ参照）

「通うこと」自体も運動になるため、通いの場にぜひ参加してほしいです。

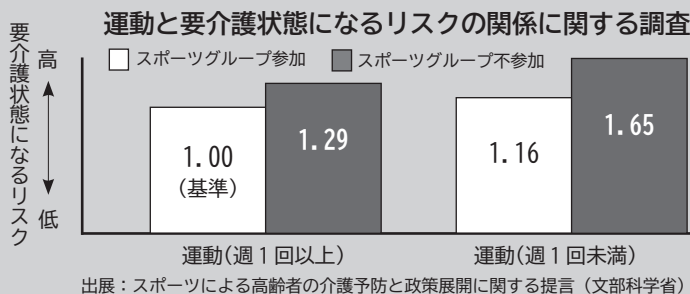
通いの場に通っている人たちは、みんな和気あいあいと楽しそうに過ごしています。運動は一人だとなかなか続きません。仲間に会うためなど、何か楽しみがあると運動も続きやすいと思います。

讃井 通いの場では、歯磨きの話だけではなく、口周りの筋肉の付け方などをゲームを通して伝えたり、だ液の重要性なども話したりしています。口腔機能の維持の重要性を伝えると「もっと早く知っていたかった」と言われることも多いです。

笑うことは口周り、腹筋、全身の筋肉を使うので、体に良いといわれています。仲の良い人と好きなことをして、笑いあって健康になれるのが一番だと思います。

Point

運動はみんなでする方が要介護状態になりやすい



参加者の声

東光町自治会 福祉部 健康増進係

わたなべ きょうこ
渡部 京子 さん



体操やお茶会などを行っている通いの場「東光町自治会福祉部健康増進係」に10年ほど通い続けている渡部さん。長年通い続けるきっかけや魅力を伺いました。

「前より動きやすい」 体の変化を実感

私たちの通いの場では、もともストレッチや体操を中心に活動していました。10年以上前、通い始めた頃の私は、正座もできないほど

体が硬くて、会の活動にあまり進まなかったのですが、しばらく通ううちに、ふと「前より動きやすいかも」と感じた瞬間があって、それが通い続ける大きなきっかけになりました。会の活動には、必ず体操の

誰もが楽しめるモルック

体操だけでなく、みんなで話し合いながらいろいろな活動をしています。



時間がありません。最初はできなかった動きが少しずつできるようになると、それが自信につながって、もつと身体を動かしてみようという気持ちが生まれてきます。

江別第二地域包括支援センターの方が協力してくれて、最近では新しくモルックを活動に取り入れました。木の棒を的に当てて、チーム対抗で点数を競いながら、楽しくプレイしています。狙った的に当てられたときは、みんなハイタッチして喜びます。思ったところに木の棒を投げられないところも面白く、つい夢中になります。きつい運動ではないのに、自然と運動になっているところも魅力だと思います。

みんなの顔を見るのが 楽しみ

ここに来たらみんなに会えるのが楽しみで通い続けています。

また、以前は地域で顔を見ることがあっても話したことのない人が多かったのですが、この会に通い始めてから、たくさんの人と知り合い、地域の交友関係がぐんと広がりました。クリスマス会や新年会などの季節のイベントには、会員以外の方も顔を出してくれるので、会の垣根を越えた、地域全体のつながりも感じています。

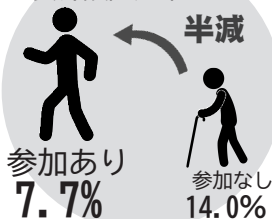
月に数回でも、誰かと会って話す機会があるというのは心の支えになります。会の雰囲気はやわらかく、初めての人もすぐに溶け込めるような空気があって、長く続けたい場所だと思っています。最近新しい方も加入し、年齢を問わず楽しめる雰囲気を感じられるようになってきました。



通いの場 DATA データ

通いの場に参加している人と参加していない人を比較すると？

サロン（通いの場）の参加と要介護認定率



要介護認定率が
半減

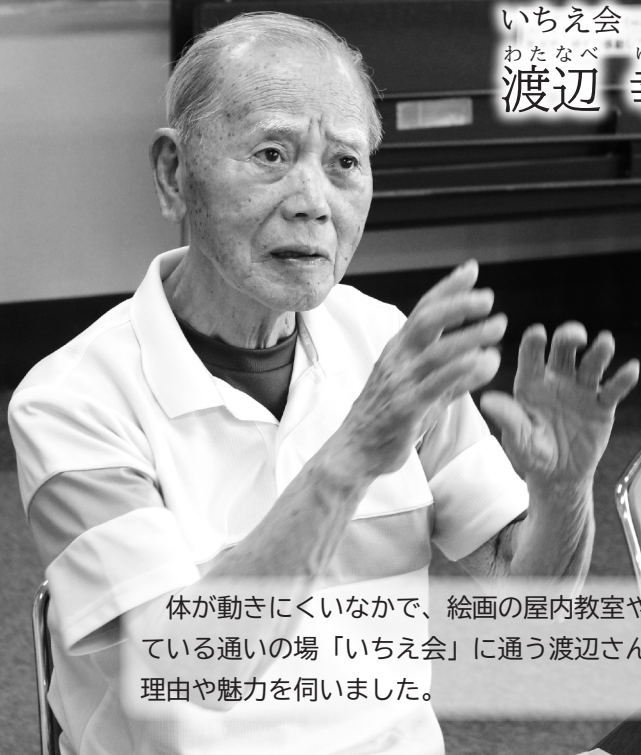
認知症発症リスクが
3割減

参考：引地博之「憩いのサロン」参加で認知症リスク3割減 —7年間の追跡調査—, Press Release

参考：第3回次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会（平成24年1月）資料1

参加者の声

いちえ会
わたなべ ゆきお
渡辺 幸男 さん



体が動きにくいなかで、絵画の屋内教室や屋外写生会をしている通いの場「いちえ会」に通う渡辺さんに、通い続ける理由や魅力を伺いました。

新しい描き方にも挑戦

会社勤めの頃から絵を描いていたのですが、近所の方に誘われて、いちえ会に参加しました。
いちえ会では油絵でも水彩でもアクリルでも、好きな描

き方で自由に描けます。私はこの会で新しい描き方にも挑戦しています。

花や果物、民族衣装など、普段描かないような題材も季節に合わせて描くことができます。

自分で描いた絵を友人など

に渡して喜んでもらえる、本当にうれしくて、描いてよかったと思います。



雰囲気良くて誰でも参加しやすい

みんな絵が好きで、黙々と描くだけでなく、作品を見せ合ったり話をしています。気軽に「その絵いいね」「ここどうやって描いたの？」と声をかけ合える雰囲気なので、自然と会話も生まれます。みんな話す事が好きなので、初めて参加した人でも打ち解けやすいやわらかい雰囲気だと思います。

また、年間予定が組まれているので、自分のペースで無理なく参加することが出来ます。分からないことがあっても先生が教えてくれたり、アドバイスをくれるので、絵を描き慣れていない人でも楽しめる環境です。絵に興味があればぜひ参加してほしいです。

絵を通じて気持ちが前向きに

私はいくつか病気を抱えていて、家にいるとどうしても病気の痛みや不安を感じてしまいます。ですが、ここに来ると、好きなことを共有できる仲間がいて、好きな絵を描いたり、誰かと話したりするなどの力を抜いて過ごせるので、自然と笑顔になります。

また、絵が完成したときに達成感が得られるのも嬉しいですし、体や頭を使うことで生活にメリハリが出て、日々が楽しみになります。

家でじっとしているよりも、ここにいると気持ちが前向きになり、病気のことを忘れてもらえるので、この会にはとても感謝しています。



通いの場参加者の幸福度
(0～10点で評価)

7-10点の割合

73%

参加あり

7-10点の割合

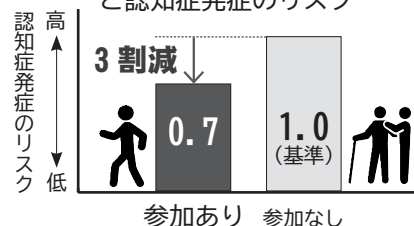
51%

参加なし

幸福度が
22%高い

参考：江別市高齢者総合計画の策定に関する実態調査

サロン（通いの場）の参加
と認知症発症のリスク





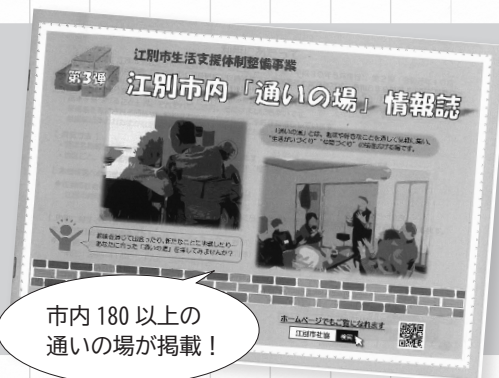
笑顔があふれ、好きを楽しむ「通いの場」



通いの場の情報誌を配布しています

お住まいの地区で活動している通いの場の詳細が掲載されている冊子『江別市内「通いの場」情報誌』を、介護保険課窓口や江別市社会福祉協議会などで配布しています。

インターネットでも閲覧できます。右の二次元コードからご確認ください。



通いの場で地域のつながりを強く 生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターは、高齢者が地域でいきいき生活できるよう、お互いに助け合う力を強化するための活動をしています。その活動の一つとして、通いの場に実際に参加し、参加者から悩み事を聞いたり、情報を集めて通いの場の情報誌を作成したりしています。

「通いの場に通いたいけど、どうすればいいかわからない」「通いの場での活動内容を相談したい」などのお問い合わせは、生活支援コーディネーター（社会福祉協議会 ☎ 385-1234）までご連絡ください。



生活支援コーディネーター
ありが有賀さん

通いの場の相談は地域の包括支援センターで受け付けています

- ・ 江別第一地域包括支援センター ☎ 389-4144
- ・ 江別第二地域包括支援センター ☎ 389-5420
- ・ 野幌第一地域包括支援センター ☎ 381-2940
- ・ 大麻第一地域包括支援センター ☎ 388-5100
- 専門職派遣の依頼もこちらからできます



特集への感想をお待ちしています

▼ 郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 江別市広報広聴課宛

FAX 381-1070

▼ 市HPアンケートフォーム

市HP内「広報えべつ」を検索するか右の二次元コードを読み込んでください



明日の自分のために 今日を楽しむ

通いの場には、自分の好きなことに熱中する人、仲間に出会うために通い続けている人、病気で少し身体が不自由でも役割を持って通い続けている人などがいます。共通しているのが「笑顔で、楽しそうに活動していること」です。通いの場では「好きなことを」「仲間と一緒に」「笑顔で楽しむ」ことができます。心も体も健康になり、これからの長い人生をもっと豊かで充実した日々にすることができるよう場所です。

あなたも自分に合った通いの場で好きなことを見つけ、笑顔あふれる素敵な日々を過ごしませんか。

119番通報と救急業務の 新しい取り組みが始まります

消防・救急の現場でより迅速で的確に対応するために新しい取り組みが始まります。札幌圏消防指令センターの共同運用とマイナ救急の開始によって、これまで以上に市民の安心と命を守る体制が強化されます。

札幌圏消防指令センターの共同運用

9月16日(火)以降、江別市からの119番通報を受付

【詳細】 消防本部 総務課 ☎ 382-5432

札幌圏（札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村）のすべての119番通報が、札幌圏消防指令センターに集約されます。これに伴い、9月16日(火)以降、市内からの通報は札幌圏消防指令センターに繋がります。札幌圏消防指令センターは複数の市町村から通報を受けるため、通報している場所を知らせるときは「江別市」から伝えてください。なお、消防車や救急車はこれまでと変わらず、市内の消防署から出動しますので、現場への到着時間は変わりません。

共同運用により、消防隊・救急隊の効率的な運用や、消防指令業務を行っていた職員の再配置による消防力の強化、指令センターを共同で一括整備することによる整備費用の大幅な削減が期待されます。



札幌圏消防指令センターの119番通報のイメージ図



映像通報システムの運用が始まります

札幌圏消防指令センターには、通報者と指令員が映像の送受信を行うことができる「映像通報機能」が備わっています。これにより、音声による119番通報に加え、映像で傷病者の状態や災害現場の詳しい状況を把握できるようになるため、迅速・的確な消防・救急活動につながり、救命率の向上が期待できます。また、指令員が映像を

見ながら応急手当のアドバイスを行うことも可能になります。

災害が起きたとき、消防指令センターからの依頼で通報者がスマートフォンで災害現場の撮影をしていることがありますので、周囲の皆さんにはご理解とご協力をお願いします。



119番通報時、住所は 「江別市」から伝えてください

あなたの命を守るマイナ救急

10月1日(水)からマイナ救急の実証事業が江別市内で始まります。普段からマイナ保険証(健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカード)を携行して、緊急時に備えましょう。
 詳細 消防本部 警防課 ☎382-5431

マイナ救急とは

救急車の到着時、救急隊員が傷病者のマイナ保険証をカードリーダーで読み取ることで、救急活動に必要な医療情報などを正確に把握し、搬送先の病院の選定などに生かす取り組みのことで、昨年度一部の地域で行われた実証事業が、今年度から江別市でも始まります。

こんなことが分かります



あなたの
病歴



病院の
受診歴



お薬の
処方歴

期待される効果

正確な情報の把握と伝達



医療機関の事前準備



円滑な搬送適切な処置



マイナ救急を利用するには

マイナンバーカードの取得とマイナ保険証の利用登録が必要です。

※マイナ保険証をお持ちでない場合でも救急車の利用は可能です

マイナンバーカードの申請

郵送またはパソコン、スマートフォンなどで申請できます。

申請に必要な書類が手元にない場合は戸籍住民課または大麻出張所で本人確認後にお渡しします。必要書類の郵送を希望する場合は、戸籍住民課へお問い合わせください。

マイナ保険証の利用登録

マイナンバーカード取得後に、次のいずれかの方法で健康保険証としての利用登録ができます。なお、利用登録には4桁の暗証番号が必要です。

- ・パソコン、スマートフォンなど
- ・カードリーダーが設置された医療機関、薬局の受付、セブン銀行ATM
- ・国保年金課や大麻出張所の窓口

詳細▼



※各公民館などで申請サポートを実施しています。下の二次元コードからご確認ください



詳細 戸籍住民課 ☎381-1146

マイナ救急の流れ



119

119番通報時に、指令員が通報者にマイナ保険証の準備を依頼する



閲覧OK

傷病者が情報閲覧に同意する
 ※意識不明など同意を得られない状況で、生命・身体の保護のため必要があると救急隊員が判断した場合、同意なしで医療情報などを閲覧することがあります



病歴
受診歴
処方歴

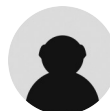
救急隊員がマイナ保険証を読み取り、傷病者の医療情報などを閲覧する



適切な処置や医療機関への円滑な搬送につながる

あって良かったマイナ救急

事例1 職場で同僚が倒れた

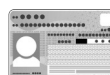


心肺停止状態

通報者は倒れた同僚の医療情報などを把握していない



マイナ保険証を活用

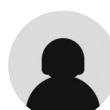


既往歴で脳梗塞、高血圧、大動脈疾患があることを確認し、搬送先の医療機関へ連絡



到着前に医療機関へ既往歴を伝えられたため、緊急手術を行うことができ、一命を取り留めた

事例2 実家へ帰省中に倒れた

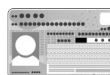


食事中に意識を失った

本人はお薬手帳を実家に持ってきていない



マイナ保険証を活用



かかりつけ医から処方されている薬剤情報や通院履歴を確認し、搬送先の医療機関に連絡



円滑な搬送と適切な処置をすることができた

明日、起るかもしれない 「地震への備え」できていますか



令和6年1月1日に能登半島地震が発生しました。最大震度7を観測し、多数の尊い命が失われました。また、住家やライフラインなどに深刻な被害が出ました。

北海道でも平成30年に北海道胆振東部地震が発生し、厚真町で最大震度7を観測しました。

災害はいつ起こるかわかりません。改めて日頃から災害への備えを確認しましょう。

【詳細】危機対策・防災担当
☎ 381-1407

市内で想定される 最大震度は震度7

市内で震度7の地震が発生した場合の被害想定

- <建物全壊> 約2,150棟
- <建物半壊> 約4,150棟
- <死傷者> 約1,390人

「つきさむはいしや月寒背斜さむうりように関連する断層」と「野幌丘陵断層帯」による地震が想定されています。

防災情報提供サービス

事前に登録しておく災害時に地震や断水、避難所の開設情報などが入手できます。メール、電話、ファクスで受け取れます。停電に備えて、メールの登録がおすすめです。



過去の災害を振り返る

7年前に震度5強を観測

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震で、江別市は過去最大の震度5強を観測しました。北海道全域が停電となり、市民の生活にも大きな影響が出ました。

▼建物の被害・人的被害

市内でも592棟の建物に被害があり、そのうち568棟が住家に対する被害でした。人的被害は、けが人が5名でした。

▼断水

大規模停電の影響で浄水場が停止したため断水となり、上江別浄水場区域全域の約2万3500世帯、約5万1千人に影響が出ました。

▼避難所の開設

市内6カ所で避難所が開設され、最大で519名が避難しました。



突然起こる災害に備えよう

飲み水や食料の日常備蓄

レトルト食品やカップ麺、飲料水など、賞味期限の長い食料品を日頃から備蓄し、食べた分を買い足すローリングストックで上手に備蓄しましょう。



▶ 目安は最低3日分
できるだけ1週間分の備蓄を推奨しています。

住宅の耐震性を確保

昭和56年以前に建設された「旧耐震基準」の木造住宅は、耐震性が不足している可能性があります。地震による被害を最小限にするためにも、耐震改修や建て替えを検討しましょう。

また、被災後の生活再建のために地震保険の加入も検討しましょう。

▶ まずは、耐震診断から！

市では図面による木造住宅の無料簡易耐震診断を実施しています。まずは、住宅の耐震性を把握しましょう。詳しくは、建築指導課（☎ 381-1042）へお問い合わせください。



停電に備える

停電時でも使用できる機器を用意しましょう。災害時には入手困難になることもあります。平時のうちに準備しましょう。



懐中電灯



ポータブルラジオ



モバイルバッテリー



カセットコンロ



カセットボンベ



乾電池

▶ 冬季の災害に備えて

カセットボンベ式の暖房器具などを用意し、暖を取る方法も確認しましょう。



第72回

市民文化祭(文芸・生活文化・展示部門) 参加者募集

[詳細] 江別市文化協会事務局 ☎ 598-7161 (火・木・金 13:00 ~ 16:00)

行事名	日時 / 会場	概要 / ￥ 参加料 / 申 参加方法 / 問 問い合わせ
短歌大会	10/19(日) 受付 13:00 開始 13:15 野幌公民館	￥ 1,500 円(歌会のみは 500 円) 申 はがきに未発表の自由詠 1 首を記入し 10/3(金)までに事務局 古寺柳子さん(〒069-0831 野幌若葉町 22-1 ☎ 384-1955)へ郵送 問 菅野 礼子さん ☎ 385-5676
市民美術展	10/24(金) ~ 10/30(木) 野幌公民館	絵画・版画・切り絵などの展示。市内に在住または在勤の方(高校生以下不可)が参加できます。 ￥ 1,000 円 ~ 2,500 円 ※作品の大きさ、点数で異なる 申 作品の搬入・受付は 10/13(月・祝)に野幌公民館ホールへ。在住地区ごとに受付時間が異なります ※9 月中旬頃から各公民館で配布される応募出品票で確認してください 問 塚原 貴之さん ☎ 080-4835-5056
川柳大会	10/25(土) 13:00 ~ 17:00 野幌公民館	宿題は「澄む」「姿」「楽器」の各題 2 句ずつ。 ￥ 1,500 円 ※親睦会費含む(投句のみは 300 円) 申 出席者は、10/22(木)までに問い合わせ先へ電話。句は当日持ち寄り ※投句のみ参加の方は任意の用紙に投句を記載し、10/22(木)までに問い合わせ先へ郵送(必着)またはファクス 問 嶋口 幸美さん(〒069-0821 東野幌町 46-10 ☎・FAX 383-5556)
俳句大会	10/26(日) 13:00 ~ 17:00 中央公民館	兼題「栗」「隣」「当季雑詠」で 1 人 3 句以内。※投句者は当日出席必須 ￥ 500 円 申 はがきまたは適宜用紙に投句を記載し、10/15(木)までに堂下 和夫さん(〒069-0824 東野幌本町 7-1-E502 ☎・FAX 385-6742)へ郵送またはファクス 問 西村 栄一さん ☎・FAX 383-0641
将棋大会	11/2(日) 13:00 ~ 17:00 青年センター	￥ 一般の部(A、B、Cの3クラス):500 円、小中学生の部と文化協会員:無料 ※当日会場で支払い 申 会場で直接 ※13 時まで 問 藤田 昌之さん ☎ 383-8565
市民菊花展	11/3(月・祝) ~ 5(水) コミュニティセンター	市民と菊友会員による菊花展。大菊・小菊は不問(種目別審査規定あり)。 ￥ 1,000 円 申 10/17(金)までに問い合わせ先へ電話 問 菊友会事務局 堀込 廣市さん ☎ 386-4519
市民書道展	11/3(月・祝) ~ 5(水) 野幌公民館	市内在住の方の書道展。未発表作品(漢字、かな、詩文、墨象、篆刻など)を額装または軸装で出品。 ￥ 500 円(文化協会員は無料) 申 出品票(各公民館で配布)を 10/1(木)までに提出 問 山田 静山さん ☎ 382-0793
市民陶芸展	11/3(月・祝) ~ 5(水) 野幌公民館	市内在住のアマチュアの方が対象。粘土で焼成した陶芸作品を 1 人 1 ~ 3 点展示できます。(出展数により調整) ￥ 個人:500 円、団体:1,000 円(文化協会員は無料) 申 9/30(木)までに出席申込票(野幌公民館で配布)を問い合わせ先へ提出 問 文化協会事務局 ☎ 598-7161
市民盆栽展	11/3(月・祝) ~ 5(水) 野幌公民館	市内在住の方と盆栽同好会による盆栽展。 ￥ 1,000 円 申 10/15(木)までに問い合わせ先へ電話 問 中川 隆さん ☎ 382-3965
市民華道展	11/3(月・祝) ~ 5(水) コミュニティセンター	長テーブル 1 本(90cm × 45cm)に 2 作程度を展示できます。 ￥ 個人:500 円 ※小学生と保護者で参加の場合は一組 500 円 申 10/15(木)までに問い合わせ先へ電話 問 笹原 邦子さん ☎・FAX 382-2096
その他 一般参加	11/3(月・祝) ~ 5(水) 中央・野幌・大麻公民館	簗工芸、押し花、絵手紙などの展示。個人、市民サークルなどで参加できます。 ￥ 個人:500 円、団体:2,000 円(文化協会員は無料) ※会場ごとの事前打ち合わせ時支払い 申 申込書(各公民館で配布)に記載し、9/12(金)までに出席を希望する公民館へ直接申し込み 問 文化協会展示部長 岡村 祐子さん ☎ 389-5081 または 教育委員会 生涯学習課 ☎ 381-1060

※展示部門の開催時間は、10:00 ~ 17:00 (最終日は 16:00)

日程・会場	講師・テーマ
	開講式 9:15 ~
10/11(土) 北翔大学 7 号棟 722 教室	9:30 ~ 11:00 教育文化学部 澤 聡一 准教授 【不登校・行きしづりのこども・家庭の理解と関わり】 11:10 ~ 12:40 江別子どもの居場所ニーズ調査グループ 【(シンポジウム) 不登校・行きしづりのこどもと家庭のために、学校と地域ができること】
10/18(土) 北海道情報大学 校舎棟 1 号館 106 教室	9:30 ~ 11:00 経営情報学部 向原 強 教授 【雇用の未来】 11:10 ~ 12:40 経営情報学部 ライアン ジョエル 准教授 【昔、こんな英語の授業、受けたかったなー】 ※3・4 人のグループで席替えをしながらの英会話体験あり
10/25(土) 酪農学園大学 C1 号館 101 教室	9:30 ~ 11:00 農食環境学群 食と健康学類 木村 宣哉 准教授 【知らずに食塩をとりすぎていませんか? ~健康寿命のために~】 11:10 ~ 12:40 農食環境学群 循環農学類 吉野 宣彦 教授 【酪農から考えるがんばらない生き方】
11/1(土) 札幌学院大学 G 館 SGU ホール	9:10 ~ 12:20 人文学部 新田 雅子 准教授、心理学部 斉藤 美香 教授 【人生 100 年時代の“しあわせな老い”を考える】 ※講義のほかにグループディスカッションあり
	閉講式 12:20 ~ ※全講義受講の方には修了証を授与

市内大学の持つ専門的知識と人材を活用して、市民の皆さんの多様化する向学心に応えるために開催します。無料。定員各回先着 100 名。

11 月 1 日(土)の開講式で市民カレッジ学位の授与を行います。希望者は 10 月 18 日(土)までに申請してください。



えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座
2025 ふるさと江別塾

[申込方法]

9 月 1 日(月)から各講座開講日の 10 日前までに、電話、ファクス、Web フォームで申し込み(電話受付は平日 9 時 ~ 17 時)

申込詳細 生涯学習課
☎ 381-1062
FAX 382-1343



回答はかんたん便利なインターネットで！

国勢調査2025



調査期間 9月20日(土)～10月8日(水)

市内の全世帯に調査員が訪問します

国勢調査は、日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として全国一斉に行われる統計調査です。調査結果は、医療・福祉事業、雇用対策、防災計画など、国および地方公共団体の各種行政政策に役立てられます。

【詳細】 ● 国勢調査江別市実施本部 ☎ 381-1402 ● 国勢調査 2025 総合サイト (右の二次元コードからご確認ください)

● 国勢調査コンタクトセンター ☎ 0570-02-5901 IP 電話の場合は ☎ 03-6628-2258



● 調査内容は？

【対象】

令和7年10月1日現在、市内に「すでに3カ月以上住んでいる人」または「これから3カ月以上にわたって住む予定の人」が対象です。

※江別市に住民登録がない方や外国人の方も対象です

【項目】

「世帯員の数」、「仕事」、「通学」などを調査します。
※国勢調査は「統計法」に調査票を提出する義務が定められています

かたり調査に
ご注意ください！

調査員は「国勢調査員証」を身に付けています。

また、国勢調査で金銭を要求したり、クレジットカードの番号を聞いたりすることは絶対にありません。不審に思った際は、速やかに市実施本部またはコンタクトセンターにお知らせください。

● 調査方法は？

9月20日(土)から調査員が各世帯を訪問し、調査について説明のうえ調査票を配布します。訪問時に不在の場合は、調査票をポストに投函することもあります。

● 回答方法は？

【インターネット】

調査員が各世帯に配布するインターネット回答用IDまたは二次元コードを使用し、9月20日(土)から10月8日(水)までに、ご自宅のパソコン、スマートフォンなどで回答してください。

【郵送】

調査票を10月1日(水)から10月8日(水)までに郵送してください。

【調査員へ手渡し】

ご希望の場合は、調査票配布時に調査員に回収希望日を伝えてください。



ふだんの生活にプラス1
ここにもあるある！

協働のまちづくり

Part46

【詳細】 市民生活課 ☎ 381-1124

人形劇で毎日の生活に小さな笑いと感動を

シアターとんとんは、人形劇の楽しさを江別でも広めたいという思いからスタートした2人組の劇団です。赤ちゃんから大人まで楽しめるキーボードの生演奏で進行する人形劇のほか、シニア向けのギター漫談なども行っています。

【問い合わせ】シアターとんとん ☎ 387-0321 ✉ gucci.m.2001@docomo.ne.jp

● わけちゃんのお楽しみげきじょう！！

シアターとんとんと風の子文庫、NPO 北海道人形劇協会が共同で、上演会やミニワークショップを開催します。

【日時】9月11日(木) 14:00～16:00 【会場】野幌公民館 【料金】1,000円

【講師】和気 瑞江さん

【申込方法】NPO 北海道人形劇協会へ電話(☎ 614-1669)で申し込み

詳細▶▶



EVENT

江別の食と自然を体験！
「えべ知るアカデミー」

〔詳細〕 生涯学習課 ☎ 381-1069



江別産の食材を使ったピザ作りや、自然について学ぶゲームなどで、食と自然を満喫できます。

日 時 10/12(日)・13(月・祝) 10:00～20:00
会 場 都市と農村の交流センター「えみくる」
(美原 1445)
対 象 市内の小学4年～中学3年生
定 員 各日25名(抽選)
料 金 1人1,000円
申込方法 学校で配布されるチラシの二次元コードから申し込み

EVENT

えべつマルシェ 2025

〔詳細〕 一般社団法人えべつ観光協会
☎ 090-6444-3780

自然の中で、食べたり飲んだり、音楽を聴きながら遊んだり、おしゃべりしたり、好きな時間を過ごすことができます。えべつの「おいしい」「たのしい」があふれています。店舗、企業、学生、市民が一体となって創り出す新しい形のマルシェです。

日 時 9/21(日) 10:00～17:00
会 場 とわの森三愛高校屋外運動用地
(北海道立図書館前)

EVENT

トークショー
江別市出身 古村比呂とヒロ福地が伝えたい
がんになった今を乗り越えるヒント

〔詳細〕 広報広聴課 ☎ 381-1064



古村比呂



ヒロ福地

がんの進行・再発と向き合いながら治療を続けている俳優の古村比呂さんが、当事者の視点で“今を乗り越えるヒント”を語ります。聞き役は、ラジオDJで江別市まちづくりアドバイザーでもあるヒロ福地さん。中学・高校の同級生である2人ならではの思い出話が飛び出すかも。

日 時 9/21(日) 15:00～16:00
会 場 市民会館小ホール
定 員 120名(抽選)
申込方法 右の二次元コードから申し込み



EVENT

動物愛護フェスティバル
in えべつ

〔詳細〕 市民生活課 ☎ 381-1094



「いろんな動物の福祉を考えてみよう～アニマルウェルフェアって知ってますか～」をテーマに開催します。イベントに参加して、動物のこと、動物と一緒に暮らすことを考えてみませんか。

ペットのおやつやおもちゃの販売、動物とのふれあいブースのほか、露店などもあります。学生食堂も利用できます。雨天決行。

日 時 9/21(日) 10:00～15:00
会 場 酪農学園大学
(文京台緑町 582)

詳細▶▶

